

阿蘇家保だより

平成25年5月号

熊本県阿蘇家畜保健衛生所 阿蘇市一の宮町宮地2639-1
TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

肉用牛繁殖経営を安定させるには！

当所では、地域衛生管理体制の整備事業を活用し、肉用繁殖牛を対象として3地域で毎年約1,700頭検診を実施しています。この事業は、肉用繁殖牛を対象に、妊娠鑑定をはじめ、発情不明牛の検診や飼養衛生管理に関する講習会等を行うことにより、1年1産を阻害する要因を早急に究明解決し、生産性の向上に寄与することを目的としています。

1 平成24年度 事業成績

地域	検査	妊娠鑑定	受胎率	平均分娩(再受胎日数) 間隔	1年1産 達成率
阿蘇	1,671	1,549	77.0	423(138)	36.5
県平均				404(119)	42.6

単位：頭（延べ）、%、日

空胎（322頭）原因の内訳

正常（発情見逃し）	栄養不足	要治療	その他
58	23	4.3	14.0

単位：%

2 1年1産を達成するために・・・

空胎牛の原因は、全体の58%を占める発情の見逃しと23%を占める栄養不足です。この二つは、飼養者の管理失宜によるものであり、飼養者が意識を変え行動することで大きく改善するものです。また、1年1産を達成するためには、阿蘇地域では平均分娩間隔を約60日（2ヶ月）短縮する必要があります。

(1) 繁殖雌牛の栄養配分の優先順位を理解する

- 1 生体の維持>2 胎児>3 成長>4 産乳>5 体脂肪の蓄積
- >6 繁殖リサイクル

※このように母牛が繁殖に回す栄養は優先順が低く、低栄養では繁殖がうまく機能しない。

(2) 発情を見逃さず、確実に受胎させるためには・・・

- 1 発情観察回数及び時間を増やす
- 2 発情、種付、発情予定、分娩予定を記録する
- 3 母牛の健康管理に努める（被毛の光沢、排尿、排便などの観察）
- 4 分娩前後の増飼いをする
- 5 ビタミン、ミネラルの補給（添加）をする
- 6 定期的に検診、妊娠鑑定を行う（分娩後2ヶ月経っても発情が来ない場合には獣医師に診てもらおう）
- 7 愛情を持って飼育・管理する

アジア諸国における悪性伝染病発生状況

病名	発生国	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国(新疆ウイグル自治区)	4月 8日	牛	A
	中国(チベット自治区)	4月12日	牛	A
低病原性鳥インフルエンザ	中国	4月 4日	家きん、鳩	H7N9
		4月12日		

5月7日現在